

自発報告制度の各国制度比較表

(参考資料)

	CHIRP(英国)	ASRS(米国)	ASAP(米国)	ASINET(日本)	自発報告制度(案)
制度概要	<ul style="list-style-type: none"> 1982年設立 航空業界で働く個人や関係者に完全に独立した報告制度を確立することにより、英国における航空安全の強化に寄与する 	<ul style="list-style-type: none"> 1976年設立 自発的なインシデント報告を収集、分析しフィードバックし、収集した情報は、①航空当局の是正、②航空政策立案、計画及び改善、③ヒューマンファクターの研究の基盤強化に用いられる 	<ul style="list-style-type: none"> 1994年設立 潜在的な事故につながる情報を自発的に報告させ、必要な再発防止のための是正措置をとり、適切な再教育等を行う ASRSに秘匿化されたデータが転送される 	<ul style="list-style-type: none"> 1999/2004年設立 航空機の運航において体験された、事故や重大インシデントには至らなかったものの運航の安全に影響を及ぼす可能性があった事象(ヒヤリ・ハット)の情報を、自発的な報告の形で広く集め関係者間で共有することにより、予防対策を講ずる 	<ul style="list-style-type: none"> 2014年4月運用開始予定 義務報告では捕捉しにくい、民間航空の安全に関する情報を収集し、分析し、及び関係者と共有することにより、航空事故その他の航空の安全運航に影響を及ぼす事態の再発を防止するとともに、予防的対策の実施に役立てる
報告者	<ul style="list-style-type: none"> 運航乗務員 整備士 客室乗務員 管制官 など (個人のみ) 	<ul style="list-style-type: none"> 運航乗務員 整備士 客室乗務員 管制官 など (個人又は当該個人が所属する組織) 	<ul style="list-style-type: none"> 航空運送事業者及び認定事業場 	<ul style="list-style-type: none"> 運航乗務員 (個人又は当該個人が所属する組織) 	<ul style="list-style-type: none"> 運航乗務員 整備士 客室乗務員 管制官 など (個人又は当該個人が所属する組織)
報告対象	<ul style="list-style-type: none"> 自身、他人、自身の組織又は関連する組織の安全に係わる次のような要因を含むインシデントや出来事 エラー 個人のパフォーマンス 運航方式・手順、整備方式・手順及び支援体制 法令・規則・基準の解釈 不安全な作業や設計 	<ul style="list-style-type: none"> 航空の安全を脅かす恐れがあると考えられた事象あるいは状況に関与したり、これを目撃したときの情報 	<ul style="list-style-type: none"> 法令からの逸脱、違反、不適合を含む潜在的な事故につながる情報 	<ul style="list-style-type: none"> 航空機の運航中に経験された不安全と思われる事象 義務報告された情報の中でも、ヒューマンファクターに関係した情報や他社と共有する価値があると考えられる情報 	<ul style="list-style-type: none"> 自ら経験した又は視認した、航空の安全上の支障を及ぼす可能性があったと思われる事象
	除外項目	<ul style="list-style-type: none"> 義務報告 安全と無関係なインシデントや出来事 労使問題や雇用契約条件に係わる問題 中傷など個人の対立に係わる問題 故意による行為及び重過失 	<ul style="list-style-type: none"> 航空事故 犯罪行為に関する報告 	<ul style="list-style-type: none"> 安全を意図的に無視する行為 犯罪行為 薬物乱用 飲酒 意図的な偽証 事業者の従業員としての行為以外で発生した事象 	<ul style="list-style-type: none"> 航空事故 重大インシデント 犯罪行為に関する報告
分析処理体制	<ul style="list-style-type: none"> 運航乗務員 管制官 整備士 客室乗務員 等 	<ul style="list-style-type: none"> 運航乗務員 管制官 整備士 等 	<ul style="list-style-type: none"> 運航乗務員 整備士 FAA担当者 等 	<ul style="list-style-type: none"> 学識経験者 運航乗務員 JAXA研究員 等 	(検討中)
運営主体	CHIRP財団	米国航空宇宙局(NASA)	航空運送事業者	公益財団法人 航空輸送技術研究センター(ATEC)	航空安全当局及び報告者以外の者
報告内容	必須項目	<ul style="list-style-type: none"> 氏名 本人の連絡先 (メール、電話番号、住所) 	<ul style="list-style-type: none"> 氏名 	<ul style="list-style-type: none"> (大型機) 運航会社名 (小型機) 氏名、連絡先 事象発生概要 	<ul style="list-style-type: none"> 本人の連絡先(メール、電話番号) 事象発生概要
	任意項目	<ul style="list-style-type: none"> 職種 事象発生日時 事象発生場所 航空機型式 飛行の種類 オペレーションの種類 経緯 資格 天候 飛行フェーズ 報告会社名 関連事象 事象発生概要 など(※) <p>(※)当該制度においては、職種によってフォーマットが異なるため、上記は一例</p>	<ul style="list-style-type: none"> 事象発生日時 職種 飛行時間 資格証明 航空交通管制経験 空域 天候状況 雲高 視界距離 滑走路視距離 航空管制施設 航空機型式 運航者 目的 飛行計画 飛行フェーズ ルート 位置情報 機器の作動状況 事象発生概要 など(※) <p>(※)当該制度においては、職種によってフォーマットが異なるため、上記は一例</p>	<ul style="list-style-type: none"> 事象発生日時 職種 飛行時間 資格証明 航空交通管制経験 空域 天候状況 雲高 視界距離 滑走路視距離 航空管制施設 航空機型式 運航者 目的 飛行計画 飛行フェーズ ルート 位置情報 機器の作動状況 事象発生概要 など(※) <p>(※)当該制度においては、職種によってフォーマットが異なるため、上記は一例</p>	<ul style="list-style-type: none"> (大型機) 標題 発生日時、場所に関する情報 飛行フェーズ 出発地/目的地 気象に関する情報 <p>(小型機)</p> <ul style="list-style-type: none"> 発生日時、場所に関する情報 航空機に関する情報 乗務員に関する情報 業務形態に関する情報 気象に関する情報 離着陸場所に関する情報 空域に関する情報
報告手段	<ul style="list-style-type: none"> 郵送 システム メール 電話 	<ul style="list-style-type: none"> 郵送 システム 	<ul style="list-style-type: none"> システム 	<ul style="list-style-type: none"> メール FAX 電話 	<ul style="list-style-type: none"> 郵送 航空安全監視システム メール FAX 電話
報告件数	約450件 (2010年実績)	約7万件 (2012年実績)	約4万件 (2010年推定値)	111件 (2013年実績)	-
情報の公開	<ul style="list-style-type: none"> 報告そのもの(秘匿化されていない情報)は非公開 秘匿化された情報の要約をCHIRPのホームページで公開 	<ul style="list-style-type: none"> 報告そのもの(秘匿化されていない情報)は非公開 秘匿化された情報を1件ずつインターネットを通じて公開 分析結果は刊行物で公開 	非公開	<ul style="list-style-type: none"> 【大型機ASINET】 報告そのもの(秘匿化されていない情報)は非公開 【小型機ASINET】 報告そのもの(秘匿化されていない情報)は非公開 報告を秘匿化して要約した刊行物をインターネット上に公開 	<ul style="list-style-type: none"> 報告そのもの(秘匿化されていない情報)は非公開 秘匿化された情報の分析結果を要約し、公表
フィードバックの方法	<ul style="list-style-type: none"> 秘匿化された情報の一部を分析結果または分析者コメントを付記し、刊行物(FEEDBACK)に掲載して広く配布 関係には分析の結果、対応が必要と考えられる事項(Corrective Action)を、Information Letterとして発行 	<ul style="list-style-type: none"> FAA/NTSB及び関係組織に対してフィードバック ASRSへの報告の抜粋をまとめて刊行物を発行 安全を目的とした組織には要求に応じて情報を提供 緊急性を有する報告は秘匿化された上で関係者に周知 	<ul style="list-style-type: none"> 事業者に対してフィードバック 	<ul style="list-style-type: none"> 航空局及び関連組織に提言書・要望書を発行 【大型機ASINET】 運営委員会が公開可能と判断した情報はATECのHPIにASINET Newsとして提言等を紹介 	(検討中)
制度の周知方法	<ul style="list-style-type: none"> Web サイト シンポジウムにおける宣伝活動 	<ul style="list-style-type: none"> Web サイト シンポジウムにおける宣伝活動 News Letter 	<ul style="list-style-type: none"> シンポジウムにおける宣伝活動 	<ul style="list-style-type: none"> Webサイト ポスターを関係各所に掲示 セミナーにて講演(例: JAPAのセミナー) 関係者間意見交換会を開催し、情報交換 	(検討中)

(出典) 本邦航空分野における自発的報告と共有を促す環境整備に係る調査報告書(平成23年3月)